

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実績及び事業効果

(単位:円)

No	事業名	事業(計画)概要	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				補助対象 外経費 (A)-(B)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果	備考	
				国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)						
1	地域医療支援事業	・医療施設へ消毒液等の経費を20万円を上限として補助する。(20病院+8 歯科医院) ・地域の3師会へ感染拡大防止等に要する経費を補助。(医師会300万 円、歯科医師会80万円、薬剤師会20万円) ・医療機関へ新規入院患者へ行うPCR検査を医師会を通じて補助。	12,764,370	12,764,370	0	12,764,000	0	370	0	R2.5.1	R3.3.29	・伊佐市内の医療機関(20病院、8歯科医院)及び医師会、歯科医 師会、薬剤師会へマスク、手袋、フェイスガード、消毒液等の感染 防止防護具等の費用について補助を行い感染防止に寄与した。 ・行政検査の対象とならない新規入院患者222名へPCR検査を実 施することで、クラスター予防を図り医療崩壊を未然に防いだ。な お、令和2年度の医療機関クラスター件数は0件であった。	
2	防災対策推進事業	・全世帯及び小中高、養護学校、介護施設等へマスクを配布し感染予防を 図る。 ・感染後の消毒作業用に防護服を購入し、感染拡大を防止する。 ・災害時の避難所用備品として、仕切りマット等を購入し感染予防を図る。	14,613,500	14,613,500	0	10,613,000	0	4,000,500	0	R2.5.1	R3.2.25	・市内の小中高、養護学校、介護施設等へ7,500セット、伊佐市 内の全13,500世帯へマスクを配布し感染防止に寄与した。 ・感染後の消毒作業用に防護服400セット購入し、職員感染時の 消毒作業に32セット使用することができた。 ・災害時における避難所の感染防止対策として、間仕切り4部屋 セット30組を購入した。令和2年度は豪雨災害のため避難所を12 日開設し、避難所2か所で使用することができた。	
3	商業者支援事業(デリバリー・テイクアウト・入店検疫事業)	感染拡大防止対策として、デリバリー又はテイクアウトに取り組む業者に 一律10万円の補助金を交付する。	5,500,000	5,500,000	0	5,500,000	0	0	0	R2.5.1	R3.1.25	・デリバリー又はテイクアウトに取り組む業者55事業者へ交付し、 密の回避及び飲食業者等の支援に効果があった。	
4	商業者支援事業(伊佐市商工会支援事業)	新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた市の地域経済を活 性化するため、伊佐市商工会を通じて、伊佐市商工会会員に一律5万円 の補助金を交付する。	30,500,000	30,500,000	0	30,500,000	0	0	0	R2.5.1	R2.7.22	・商工会会員数(609名)から定款会員(8名)賛助会員(7名)銀行 (2名)辞退(9名)を差し引いた会員(583名)に新規会員(27名)を 加えた合計610名に支援金を交付し地域経済の活性化に寄与し た。	
5	子育て世帯への伊佐市応援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、子育て世帯に対して臨時特 別的な措置として、児童1人に対し1万円を給付する。	29,780,000	29,640,000	0	29,640,000	0	0	140,000	R2.5.1	R2.10.20	・子育て世帯の児童2,966人分に対して1万円を給付することで子 育て世帯の支援に効果があった。	
6	介護施設等支援事業	介護事業所において、新型コロナウイルス感染防止対策に要する経費に ついて5万円を上限として補助する。	2,800,000	2,800,000	0	2,800,000	0	0	0	R2.6.26	R3.3.22	・伊佐市内のすべての介護事業所(56事業所)へマスク、手袋、 フェイスガード、消毒液等の感染防止防護具等の費用について補 助を行い感染防止に寄与した。	
7	障がい者施設等支援事業	障害者支援事業所において、新型コロナウイルス感染防止対策に要する 経費について5万円を上限として補助する。	1,550,000	1,550,000	0	1,550,000	0	0	0	R2.6.26	R2.12.24	・伊佐市内のすべての障害者支援事業所(31事業所)へマスク、 手袋、フェイスガード、消毒液等の感染防止防護具等の費用につ いて補助を行い感染防止に寄与した。	
8	児童生徒1人1台端末の整備事業	Society5.0時代を生きる子どもたちに相応しい、誰一人取り残すことのない 公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現するため「1人1台端末」 を整備。GIGAスクール構想の加速により、コロナ禍においても学びを保障 する。	113,304,213	113,304,213	49,578,000	63,726,000	0	213	0	R2.10.9	R3.3.18	・伊佐市内の全児童生徒へ端末を整備した。(1,689台購入) コロナ禍においても学びを保障するとともに、Society5.0時代を生 きる子どもたちの学びを誰一人取り残すことのないように支援する 体制が整った。	
9	伊佐のふるさと「絆」づくり事業	伊佐市出身の帰省を自粛している市外の学生に3,000円相当の特産品を 伊佐市観光特産品協会を通じて送付。伊佐市観光特産品協会へ補助金。	833,874	833,874	0	833,000	0	874	0	R2.7.1	R2.12.10	・県内52名、県外138名の合計190名の応募があり発送を行った。 餃子、肉類の応募が多く見られ、学生支援、地元産品振興を行う とともに若年層のニーズ把握にも繋がった。	
10	伊佐市事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた中小企業及び個人事業 主の事業継続及び雇用の確保を支援するため、助成金を支給する。 ・3～6月のいずれかの月の売上が前年度比20%以上50%未満減少した 事業所 ・R2.12月～R3.2月のいずれかの月の売上が前年度比20%以上減少した 事業所	25,155,000	25,155,000	0	25,155,000	0	0	0	R2.6.26	R3.7.21	・R2.3月～R2.6月(15,400,000円) 77事業所の中小企業及び個人事業主から申請があり補助金を支 給した。事業継続及び雇用の確保を支援することができた。 ・R2.12月～R3.2月(9,755,000円) 102事業所の中小企業及び個人事業主から申請があり補助金を 支給した。事業継続及び雇用の確保を支援することができた。	繰越事業
11	緊急地域経済活性化対策事業	厳しい経営状況にある飲食店をはじめとする様々な業種を支援することを 目的に、プレミアム商品券を実施することで、地元商店街の消費拡大及び 地域経済の活性化に資する。 ・いさプレミアム付商品券額面7,000円×25,000セット 7,000円のうち2,000 円補助 ・いさプレミアム付食事券(バル券)7,000円×25,000セット 7,000円のうち 2,000円補助 ・プレミアム付商品券発行事務費 720万円 伊佐市商工会へ補助	103,683,668	103,683,668	0	103,683,000	0	668	0	R2.6.26	R3.3.23	・339,588,000円の額面消費となり、地元商店街の消費拡大及び地 域経済の活性化に寄与した。 プレミアム付商品券額面313,762,000円(臨時交付金補助額 89,646,285円) プレミアム付食事券額面25,826,000円(" 7,378,857円) 事務費補助6,658,526円	

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実績及び事業効果

(単位:円)

No	事業名	事業(計画)概要	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				補助対象 外経費 (A)-(B)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果	備考	
				国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)						
12	行政ICT化推進事業	コロナ禍にあってリモートやウェブ会議等の利用ニーズの高まりに合わせて、ウェブ会議や打合せ、ウェブ面接、移住相談等に対応可能な環境を整える。 (モニター2、ウェブカメラセット3、スピーカーマイク3、プロジェクター2、スクリーン1、Wi-Fi対応ノートPC4、ヘッドセット2、Wi-Fiルーター2、Microsoftライセンス4、カメラ用スタンド3、無線LANレシーバー2)	1,188,000	1,188,000	0	1,188,000	0	0	R2.10.28	R2.12.17	・コロナ禍にあってリモートやウェブ会議等の利用ニーズが高まり、ウェブ会議や打合せ等、令和2年度は107回使用し、感染予防に寄与した。		
13	光ファイバ回線整備事業(地方単独分)	民設民営方式による不採算性の高い未整備エリアへの光ファイバ整備が可能となり、GIGAスクールの加速化とSociety5.0の実現に向けた整備を進めることができる。 民設民営方式による光ファイバ回線整備に係る事業者への補助金(地方負担分の単独上乘せ分) ・光ファイバ回線整備 (未整備3地区の局舎からクロージャまでの整備) ※ 補助対象事業の補助裏分を超える地方単独上乘せ分	136,071,168	136,071,168	0	136,071,000	0	168	0	R2.11.27	R4.3.30	・伊佐市内において光ファイバ未整備地区であった、西山野地区、羽月西地区及び曾木針持地区の整備を行ったため、未整備地区は無くなった。このことにより、一般家庭及び事業所における超高速インターネット接続環境を実現し情報格差解消が図られた。また、すべての小中学校において、GIGAスクールの加速化とSociety5.0の実現に向けた整備を進めることができるようになった。(No24は同事業)	繰越事業
14	新型コロナウイルス感染症対策休業等協力補助事業	令和2年4月25日～令和2年5月6日、令和2年7月8日から令和2年7月21日までの2期間、県知事の休業等の要請に応じた中小企業・個人事業主が事業継続に大きく支障を来していることから、要請に対する協力金として補助金を交付するもの。 休業期間1回につき10万円	10,400,000	10,400,000	0	10,400,000	0	0	0	R2.9.24	R2.11.19	・85事業所の中小企業及び個人事業主から申請があり補助金を支給した。営業時間短縮要請の負担軽減を図ることができた。	
15	地域の特産品開発・魅力向上事業	地域観光DMOを中心として、地域の特産品の開発やパッケージ制作、販促PRを行い、ネット販売等を通じて地域産業の回復の一助とする。 業務委託料6,050千円(マーケティング990千円、デザイン費1,617千円、試作品製作費2,013千円、宣伝広告費1,430千円)	6,050,000	6,050,000	0	6,050,000	0	0	0	R2.12.14	R3.3.31	開発商品 ・1切干大根、2野草寒天、3野草ハンドクリーム、4カレー、5長期保存レトルト惣菜(豚バラ味噌煮他8品)、6ジビエペットフード(ジャーキー) パッケージ等制作 ・ブランドマーク制作(「世界一やさしいまち」ロゴマーク) ショップ開設 ・Amazon「世界一やさしいまち」ショップ開設 開発商品のレシピ作成や販売用サイトとも整備された。今後これらをもとに地域産業の一助となることが期待できるものとなった。	
16	自然体験型観光資源磨き上げ事業	・Withコロナでの観光振興として、キャンプ場の調理スペースの環境改善を行うことで磨き上げを図る。また、感染リスクの少ないソロキャンプが見直されており、新たなニーズに対応するため、貸出用テントを購入すると同時にキャンプ場周辺を散策するための貸出用自転車を購入し地域の魅力を感じてもらう。 ・アウトドア環境の改善(換気対策)や魅力向上のために必要な施設の改修費及び用具の購入費、宣伝費。	41,440,785	41,440,785	0	41,439,000	0	1,785	0	R2.10.14	R3.8.11	・魅力ある観光資源をWithコロナ及びコロナ終息後に最大限に活かすため、十曾青少年旅行村(キャンプ場)の調理スペース、バンガロー、管理棟などの改修を行った。 ・新しくなった管理棟は利便性も向上し来客が気持ちよく利用できるものが整備できた。また、自転車用の倉庫に購入した貸し出し電動自転車を設置し利用者に貸し出しを行っている。その他、既存のバンガローのエアコン設置や外壁及び内壁改修及びウッドデッキの設置を行いさらに魅力を高め快適に利用できるようになった。	繰越事業
17	地域資源活用看板作成事業	・多様な地域資源の活用及び統一的なデザインによる観光資源の磨き上げのため、地元デザイナーや地元産材の活用により、観光地のサインや地域資源の紹介看板を作成し、滞留性のある観光スタイルの実現を図る。 ・地元デザイナーによるデザインを依頼。	19,550,000	19,550,000	0	19,550,000	0	0	0	R3.1.25	R4.3.28	・観光名所である「曾木の滝」や「十曾青少年旅行村」へのサイン看板を作成し、観光資源の充実を図ることができた。 ・設置場所(基数):曾木の滝(6基)、十曾青少年旅行村(7基)、十曾池公園(2基)	繰越事業
18	観光施設感染予防対策事業	・市外からの利用客が多いキャンプ場等の観光施設における感染症拡大の予防対策として、利用客と極力接触を避けるため、インターホンの設置やウイルス殺菌のためのシャワー室等を整備することで、より安全で衛生的な余暇活動を促す。 ・感染症拡大防止につながる用品・機器の購入費、シャワー棟の整備費(設計費含む)	66,037,212	66,037,212	0	66,037,000	0	212	0	R2.10.12	R3.8.11	・十曾青少年旅行村(キャンプ場)の今後の利用増加を見込み、安全安心な施設とするため感染防止対策を徹底した。管理棟の改修と同時にシャワー室を設け衛生面の向上を図った。また、バンガローにエアコンを設置し換気対策を図った。	繰越事業
19	学校保健特別対策事業費補助金	・児童・生徒の学習保障をするために各学校が感染症対策等を徹底し、感染拡大のリスクを最小限にする。 ・市内小中学生に配付するマスク購入に係る経費 ※感染症対策のためのマスク等購入支援事業分に係る補助裏分	559,000	559,000	279,000	280,000	0	0	0	R2.5.1	R2.5.21	・市内の小中学校の児童生徒(1,645名)へ不織布3層マスク(22,000枚)を配布し感染防止に寄与した。	
20	小中学校感染症対策事業(地方単独分)	(No19と同じ) ※感染症対策のためのマスク等購入支援事業分に係る地方負担分	893,000	893,000	0	893,000	0	0	0	R2.5.1	R2.5.21	・No19と同じ	

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実績及び事業効果

(単位:円)

No	事業名	事業(計画)概要	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				補助対象 外経費 (A)-(B)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果	備考	
				国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)						
21	GIGAスクール構想推進事業	・光ファイバ回線や一人一台タブレット整備と併せて、学校内のICT機器環境を整え、GIGAスクール構想の実現化を加速化する。 ・補助対象とならない学校ICT関連機器の購入費用	28,039,000	28,039,000	0	28,039,000	0	0	0	R2.11.17	R3.3.18	・一人一台タブレット整備と併せて、学校内のICT機器環境を整え、GIGAスクール構想の実現化を加速化することが出来た。 大型提示装置 65型 33台 75型4台 指導者用タブレット端末 90台	
22	学校施設環境改善交付金	・感染症拡大を防止するため、屋内体育施設に換気設備を整備する。 ・屋内体育施設への換気扇設置費用	2,556,000	2,556,000	808,000	1,748,000	0	0	0	R2.12.23	R3.3.25	伊佐市総合体育館内のアリーナ、男女更衣室、男女トイレ、男子シャワー室、武道場へ換気扇を設置し感染防止に寄与した。	
23	体育施設感染予防対策事業	・屋内体育施設における感染症拡大の予防対策として、密室の回避と衛生環境の改善のため、必要な措置を講じる。 ・屋内体育施設の換気設備の設置・備品購入費用及び衛生環境改善のためのトイレの洋式化の整備費用 ※ 学校施設環境改善交付金(文科)に該当しない部分の費用	7,057,390	6,881,000	0	6,881,000	0	0	176,390	R2.10.7	R3.3.31	武道館及び体育センターの網戸工事、体育センターの非煙窓オペレーター改修工事、陸上競技場及び市営球場スタンド換気扇工事を行うことで換気対策を行った。また、弓道場、陸上運動公園、農村グラウンドのトイレ洋式化を行い衛生面の向上を図り、感染防止に寄与した。	
24	無線システム普及支援事業費等補助金	(No13と同じ) ・民設民営方式による不採算性の高い未整備エリアへの光ファイバ整備が可能となり、GIGAスクールの加速化とSociety5.0の実現に向けた整備を進めることができる。 ・民設民営方式による光ファイバ回線整備に係る事業者への補助金	90,712,800	90,712,800	0	90,712,000	0	800	0	R2.11.27	R4.3.30	・No13と同じ	
合計			751,038,980	750,722,590	50,665,000	696,052,000	0	4,005,590	316,390				